

平成 30 年度 東部保育所指定管理者管理運営状況調書

担当課 保育課

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
利用者の平等利用が確保されること	①平等利用確保への取組状況	B	B	
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	①施設の利用促進への取組状況	B	B	
	②サービス改善への取組状況	B	B	
	③自己評価及び第三者評価の実施と活用状況	B	B	
	④地域子育て支援センター事業の実施状況	B	B	
適正な衛生管理、健康管理等への取組がされているか	①衛生管理（食品を除く）への取組状況	B	B	
	②食品衛生管理への取組状況	B	B	
	③給食（おやつ）の提供への取組状況	B	B	
	④児童の健康管理への取組状況	B	B	
	⑤児童虐待問題への取組状況	B	B	
地域との関わりへの取組がされていること	①地域との関わりへの取組状況	B	B	
個人情報の適切な保護が図られていること	①個人情報保護のための取組状況	B	B	
危機管理体制が確立されていること	①防犯対策の状況	B	B	
	②防災対策の状況	B	B	
	③安全対策の状況	B	B	
	④苦情解決の状況	B	C	
現金の取扱い	①現金の取扱い等の経理処理状況	C	C	
管理経費の縮減が図られているか	①経費縮減のための取組み状況	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際しての地元業者への配慮がなされていること	①地元住民の雇用及地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	① 人員配置について	B	B	
	②職員の指揮監督・管理体制について	B	B	
	③人材育成の取組状況について	B	B	
総合所見 平成 28 年度から指定管理者の運営が開始され、特に大きな混乱はなく運営されている。 平成 30 年度は、社内事情により主任が交代しているが、後任に東部保育所の保育士を昇格させたり、持ち上がりの担任も全クラスで配置するなど、人員配置に配慮がされていて、良好な運営が行われている。その他、行事ごとのアンケートや保護者の意見を、保育に反映させるための独自アンケートを継続して実施するなど、保育の質の向上に務めている。				

ただし、課題として、保護者からの苦情等に対する対応が適切でなかったり、事故に対する検証が不十分なケースが見受けられことから、市から指導していく必要がある。

また、現金の取扱いに関して、マニュアルが不十分であることから見直しをする必要がある。

地域子育て支援センターは、運営を開始した初年度と同様の行事等を実施したことから大きな混乱等はなく、利用者に好評を得ている。